

「IT×働き方改革」テーマに

総務部門向け 日立システムズがフェア

日立システムズは14日、「IT×働き方改革」をテーマに「第2回総務部門向けITフェア」を開催した。働き方改革の軸となる①業務効率化、②品質向上、③ヘルスケアなどのカテゴリーが、総務部門に役立つソリューションや導入事例を提案した。

同イベントは今年1月に続き、2回目の開

催。来場者は前回を大きく上回り、定員を超える約180人が来場した。「働き方改革」の軸となる①業務効率化、②品質向上、③ヘルスケアなどの導入による業務効率化へ積極的に取り組んでいるサイボウズや、企業オフィス全体の働き方改革のデザイン設計に取り組む日立

今回は新たにセミナーセッションを設け、ノンフィクション作家の田中健彦氏の基調講演やパートナー企業の事例講演も開催。RPAなどの導入による業務効率化へ積極的に取り組んでいるサイボウズや、企業オフィス全体の働き方改革のデザイン設計に取り組む日立



働き改革を実現する多くのソリューションが展示された

立建設設計などが、自社での取り組みを紹介した。

産業・流通営業 統括本部第一営業 本部長は「前回は来場者や出展したパートナー企業から非常に好評で、早くも2回目の開催となった。顧客の業務の流れに沿って、ソフトウェアやファシリティを一括で提供できる強みを訴求した」と話す。

業務改善に関わるソリューションとして総合経費管理システム「トラベラーズワン」を紹介。総務部門の煩雑な業務の一つとされる旅費・経費精算を出張手配からワンストップで管理することができる。経路検索や旅行代理店など外部サービスとの連携も可能で、簡単に入力することができ、今夏からチャットボット機能もリリースされ、働き方改革を支援する。

ヘルスケア関連では、利用者の声を分析し心の元気を数値で見える化できる「音声こころ分析サービス」を展示した。同サービスはスマホを通じて日常の声から心の健康状態を手軽にチェックできるクラウドサービス。利用者のセルフメンテナンスや不調の早期発見、予防に活用する。

そのほか、IoTを活用した会議室モニタリングサービスなどを紹介し、オフィスの環境改善を提案した。